

使い方

を知る

腹痛にも効くオオヨモギ



□の写真は毒草

布、染め物、たわし、ホース … 様々なものに



繊維に使われたエゾイラクサ。トゲに触るとチカチカかゆくなる。アイヌ語名モセ



ヨブスマソウ。ホースやストローに。アイヌ語名ワッカクツタル

現代人が石油から作り、ホームセンターなどで買い求めるものも、かつての人は農産物や自然の中から素材を見つけ、作り出していました。

布の繊維はエゾイラクサ(アイヌ語名モセ)から、ササ(ウラシ)を屋根材に、トクサ(シブシブ)を歯ブラシに、ヨブスマソウ(ワッカクツタル)をホースやストローに、と生き物は様々な材料や道具になってくれます。

また、釜やナベなどがなくても、フキの葉(コルハム) 5枚くらいで、ご飯が炊けるといいます。



トクサ。歯ブラシの他に丸く束ねて汚れ物をこすったり、細工物を磨くのに使ったという。アイヌ語名シブシブ



外来種のオオアワダチソウ。葉や茎を染料に利用できる



アキタブキ。フキの葉はアイヌ語名でコルハム、フキ(の茎)はコルコニ、フキノトウはマカヨ

薬にも — ただし毒にもなる

植物には薬効を持つものがあります。漢方薬や生薬の多くは植物を利用したものです。

例えば実を「ひつつき虫」にしてあそびキンミズヒキには、下痢止め・止血・利胆作用や湿疹・かぶれ・火傷に効くといえます。

ただフクジュソウ(チライアバツポ)には強心作用がある反面、素人療法では死者が出ることもある程の毒草でもあります。

使用の際は、医師などの専門家に相談してください。



バイケイソウ。毒草。ウジ殺しや農業用殺虫剤に。アイヌ語名シクツキナ



キンミズヒキ。下痢止めなどに



オオイタドリ。貼って打撲に、煎じて咳止めなど。アイヌ語名クツタル



クサノオウ。皮膚疾患・痔に。毒草でもある。アイヌ語名オトンブイキナ



フクジュソウ。強心作用。毒草。アイヌ語名チライアバツポ

参考文献

「アイヌ植物誌」福岡イト子 草風館 1995

「北海道薬草図鑑 野生編」山岸喬 北海道新聞社 1992